

令和元年度 重点目標の取り組みと成果

はじめに

少子高齢化が進むとともに、家庭や地域での人間関係が希薄化、社会的孤立を背景にした、高齢者の孤立、孤独死、生活困窮、児童虐待など様々な問題が発生しています。国や自治体では、「地域共生社会」の実現に向けた施策が推進されているところです。

このような状況の中、本会においては、地区社協を核に、民生委員児童委員、福祉委員、自治会など関係者と連携・協働して見守り支援活動を進めるとともに、平成29年3月に策定した第3次地域福祉活動計画の年次計画に基づく取り組みを実施しました。

また、公共性の高い民間団体として、持続的な財政運営を行っていくため、平成30年3月に策定した財政安定化計画の実施計画に基づく取り組みも行っているところです。

平成31年4月からは、「働き方改革関連法」が順次施行され、時間外労働の上限規制や有給休暇の取得義務化、正規職員と非正規職員との不合理な待遇差が禁止され、非正規職員が多い本会においても、不合理な待遇差の解消に向け、就業規則の改正などの見直しを行ってきました。

特に児童館（放課後児童会）事業については、人材確保が困難な状況にあり、児童厚生員が通年欠員状態となるなど、深刻な人材不足が続いています。今後とも処遇改善をはじめ、定年退職者の再雇用等の人材確保や人材育成が課題となっています。

令和元年度は、以下の重点目標を掲げ事業を推進しました。

1 第3次地域福祉活動計画の推進

令和元年度は20の取り組みのうち4事業を新規に開始し、18の事業を行いました。また、第3次地域福祉活動計画を円滑に進めるため、20の取り組みごとに推進スケジュールを作成し、局内で進行管理会議を行いました。外部の有識者による地域福祉活動推進会議は、新たな委員を委嘱して開催し、取り組みの進捗状況を報告しました。

2 財政安定化計画の推進

財源確保策11項目、経費削減策6項目について取り組みを行いました。前年度に続き、一般会員会費の改定に向けた取り組みや、新たに「社協だより」への有料広告募集、目標設定型寄附の募集などに取り組みました。また、これら実施計画を推進していくため、4半期ごとに局内で進行管理会議を行いました。一般会員会費の改定については、会員会費規程を改正し、令和2年度から実施することになりました。令和2年度は計画の中間年になるため、実施計画の見直しを行います。

令和元年度 事業報告

I 法人運営事業

＜拠点区分1＞

1 法人運営事業

公益性の高い法人として、透明かつ公正な運営を行うため、理事会で諸課題を協議するとともに、法人運営や会計処理を適正に行うため、法律、会計の専門家の協力を得て適正な運営に努めた。また、財政の健全化を図るため、財政安定化計画実施計画の推進項目に取り組んだ。

(1) 三役会 (4回)

- ① 5月29日(水) 福井市社会福祉協議会会議室
- ② 10月8日(火) 福井市社会福祉協議会会議室
- ③ 12月23日(月) 福井市社会福祉協議会会議室
- ④ 3月6日(金) 福井市社会福祉協議会会議室

(2) 理事会 (9回)

- ① 第1回 4月1日(月) 決議の省略の方法にて開催
第1号議案 平成31年度第1回評議員会の開催について
- ② 第2回 4月1日(月) 決議の省略の方法にて開催
第2号議案 専務理事の選任について
報告事項 理事の退任に伴う補欠の選任について
- ③ 第3回 5月7日(火) 決議の省略の方法にて開催
第3号議案 評議員選定委員会の開催について
第4号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
- ④ 第4回 6月6日(木) 福井市民福祉会館 ボランティアルームB
第5号議案 任期満了に伴う理事・監事候補者の推薦について
第6号議案 平成30年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について
第7号議案 令和元年度資金収支第1次補正予算の同意について
第8号議案 令和元年度第2回評議員会の開催について
報告事項 第1回評議員選定委員会の結果について
財政安定化計画実施計画平成30年度進捗状況について
- ⑤ 第5回 6月20日(木) 福井市民福祉会館 301号室A・B
第9号議案 会長の選任について
第10号議案 副会長の選任について
第11号議案 専務理事の選任について
- ⑥ 第6回 9月2日(月) 決議の省略の方法にて開催
第12号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
第13号議案 第2回評議員選定委員会の開催について
- ⑦ 第7回 10月21日(月) 福井市民福祉会館 301号室A・B
第14号議案 地域福祉基金の一部処分について

- 第 15 号議案 令和元年度資金収支第 2 次補正予算の同意について
- 第 16 号議案 令和元年度第 3 回評議員会の開催について
- 第 17 号議案 財産の処分について
- 協議事項 財政安定化計画実施計画の見直しについて
- 報告事項 職務執行状況の報告について
- 第 2 回評議員選定委員会の結果について
- ⑧ 第 8 回 12 月 18 日 (水) 決議の省略の方法にて開催
- 第 18 号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
- 第 19 号議案 第 3 回評議員選定委員会の開催について
- ⑨ 第 9 回 3 月 16 日 (月) 福井市民福祉会館 301 号室 A・B
- 第 20 号議案 議決事項の変更について
- 第 21 号議案 令和元年度資金収支第 3 次補正予算の同意について
- 第 22 号議案 会員並びに会費に関する規程の一部改正について
- 第 23 号議案 経理規程の一部改正について
- 第 24 号議案 職員就業規則の一部改正について
- 第 25 号議案 職員給与規程の一部改正について
- 第 26 号議案 非常勤職員の就業に関する規則の一部改正について
- 第 27 号議案 児童館職員の就業に関する規程の一部改正について
- 第 28 号議案 定年退職者再雇用規程の一部改正について
- 第 29 号議案 地域福祉基金の一部処分について
- 第 30 号議案 資金運用規程の制定について
- 第 31 号議案 令和 2 年度事業計画並びに資金収支予算の同意について
- 第 32 号議案 令和元年度第 4 回評議員会の開催について
- 報告事項 第 3 回評議員選定委員会の結果について
- 令和 2 年度職員募集・採用試験の結果について
- 法人後見事業実施要綱の制定について

(3) 評議員会 (4 回)

- ① 第 1 回 4 月 1 日 (月) 決議の省略の方法にて開催
- 第 1 号議案 理事の退任に伴う補欠の選任について
- ② 第 2 回 6 月 20 日 (木) 福井市民福祉会館 301 号室 A・B
- 第 2 号議案 理事及び監事の選任について
- 第 3 号議案 平成 30 年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について
- 第 4 号議案 令和元年度資金収支第 1 次補正予算の承認について
- 報告事項 第 1 回評議員選定委員会の結果について
- 財政安定化計画実施計画平成 30 年度進捗状況について
- ③ 第 3 回 10 月 30 日 (水) 福井市民福祉会館 301 号室 A・B
- 第 5 号議案 地域福祉基金の一部処分について
- 第 6 号議案 令和元年度資金収支第 2 次補正予算の承認について
- 報告事項 第 2 回評議員選定委員会の結果について
- ④ 第 4 回 3 月 25 日 (水) 福井市民福祉会館 301 号室 A・B
- 第 7 号議案 令和元年度資金収支第 3 次補正予算の承認について
- 第 8 号議案 会員並びに会費に関する規程の一部改正について
- 第 9 号議案 地域福祉基金の一部処分について

第10号議案 令和2年度事業計画並びに資金収支予算の承認について
報告事項 第3回評議員選定委員会の結果について

(4) 評議員選定委員会の開催 (3回)

- ① 第1回 5月23日(木) 福井市社会福祉協議会会議室
- ② 第2回 9月13日(金) 決議の省略の方法にて開催
- ③ 第3回 12月24日(火) 決議の省略の方法にて開催

(5) 監事監査の実施

5月24日(金) 福井市社会福祉協議会会議室

(6) 会計事務所による定期訪問監査 (4回)

(7) 顧問弁護士の配置

(8) 職員総数 468名 [令和2年3月31日現在]

事務局職員 23名 (常勤17名、市派遣1名、非常勤5名)

事業職員 445名 (非常勤職員)

児童館(館長、児童厚生員) 82名

放課後児童会支援員 263名

児童クラブ職員(クラブ長、サブリーダー、支援員) 19名

自治会型デイホーム事業専任職員 47名

日常生活自立支援事業生活支援員 30名

地域子育て支援拠点事業専任職員 4名

(9) 自主財源の確保

① 社協活動の説明状況

地区自治会連合会 31回 (前年度 25回)

地区社協の総会など 40回 (前年度 35回)

② 会員会費の募集

会員会費募集の実績

区 分	実績額	前年度との比較
一般会費(年額350円/世帯)	24,361,358円	442,700円増
賛助会費(1口1,000円/個人)	10,188,200円	△475,600円増
特別賛助会費 (1口10,000円/法人・企業)	7,341,674円	125,990円増
合 計	41,891,232円	93,090円増

※特別賛助会員加入企業数 614社 (前年度 608社)

③ 寄附金

132件 70,318,893円 (前年度 44件 1,078,818円)

内訳 { 故法性定子氏寄附 68,064,295円
目標設定型寄附 31件 250,410円
その他 100件 2,004,188円

④ チャリティ物品販売

越前水仙の販売 12月8日、9日 収益10,920円

(10) 福祉サービスに関する苦情解決事業の状況

苦情受付件数 19件 (前年度 13件)

〈苦情申出人の属性区分〉

サービス利用者本人	2件
サービス利用者家族	9件
自治会関係者	1件
民生委員児童委員	1件
事業協力者	1件
一般市民	4件
その他	1件
合 計	19件

〈苦情の事業区分〉

会員会費募集	4件
自治会型デイホーム事業	2件
児童館事業	4件
放課後児童会事業	8件
地域子育て支援拠点事業	1件
合 計	19件

〈苦情の内容区分〉

サービス、ケアの内容に関わる事項	2件
職員の接遇に関わる事項	10件
制度、施策、法律に関わる事項	2件
その他	5件
合 計	19件

(11) 広報啓発活動の推進

- ① 社協だより「まごころ」の発行 年6回 各82,000部(全戸配布)
- ② 点訳社協だよりの発行 年6回 各38部
- ③ 音訳社協だよりの発行 年6回 各5本
- ④ 社協のごあない発行 年1回 19,000部
- ⑤ ホームページでの情報提供 <http://www.fukuic-shakyo.jp/>
- ⑥ Facebookでの情報提供 <https://www.facebook.com/fukuic.shakyo/>
- ⑦ 福井市民福祉大会の開催(市と共催)

開催日 9月27日(金)

会 場 福井市民福祉会館 小ホール

参加者 社会福祉関係者及び一般市民約400名

○第一部 式典

- ・市長表彰 68名
- ・市社協会長表彰 1団体81名
 - 社会福祉施設功労者 30名
 - 社会福祉協議会・社会福祉団体関係功労者 11名
 - 退職役職員等社会福祉功労者 1名
 - 永年勤続功労者 4名
 - ボランティア功労者 1団体22名
 - 福祉委員功労者 13名

- 第二部 講演
内 容 「笑顔で暮らせるまちづくり～おせっかいをしてみませんか?～」
講 師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏

(12) 財政安定化計画の推進

① 令和元年度進捗状況

資料 1

実施計画に基づき取り組み項目、目標値の実現に向けて取り組みをした。

② 進行管理会議の開催 4回 (9月11日、11月6日、1月22日、3月27日)

(13) 人事評価の試行

人事評価の施行実施3年目で、正職員全員に対して目標管理による人事評価を行った。

㊦(14) 衛生委員会の開催 (5回)

労働安全衛生法の規定に基づき衛生委員会を設置し、職場の安全衛生について協議した。

(15) 法人連携の推進

① 福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会へ加入し、近隣地域住民の生活上の困りごとに関する総合相談及び経済的支援を行った。

【支援実績】 25回 (5名) (前年度 26回 (6名))

【経済支援実績】 6回 (114,830円) (前年度 5回 31,765円)

- ㊦② 福井市内の社会福祉法人の「地域における公益的な取組」の現状を把握し、法人・施設と連携して地域福祉を推進するために、アンケート調査を実施した。
調査対象：福井市内の社会福祉法人 72法人
回収率：67法人 (92%)

2 基金運営事業

遺贈による寄付金を地域福祉基金に積立てた。地域福祉基金の一部を取崩し、地区社協活動啓発ふれあい事業に充当した。

(1) 地域福祉基金運営事業

基金残高 346,259,468円 (前年度 281,879,542円)

(2) 災害ボランティア基金運営事業

基金残高 1,626,135円 (前年度 1,326,013円)

II 地域福祉推進事業

<拠点区分2>

1 地域福祉活動推進事業

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地区社協を核に、福祉委員、民生委員児童委員、自治会などの関係者に対し、地域づくりに取り組む支援を行った。

第3次地域福祉活動計画の事業を推進するため、取り組みスケジュールに沿って、18の取り組みを企画実施し、1つの取り組みについて企画、調整、準備を行った。

また、この活動計画に係る地域福祉活動推進会議を開催して、進行管理、評価を行い、次年度に向けての改善につなげた。

(1) 地区社協の育成支援

地域に根ざした地域福祉活動を推進する地区社協に対し、相談・助言等の支援を行うとともに活動費の補助を行った。

- ① 地区社協ブロック担当制による支援強化、地区社協会議への参加・支援
地区社協との連携を図るブロック担当職員(他業務と兼務)を配置し、各地区社協が行う各種地域福祉活動への助言や支援、情報提供を行った。地区社協事務局会議等へも積極的に参加した。
 - ・ブロック地区社協担当者会議の開催 年12回
 - ② ブロック会議等を通じた情報交換と活動の充実
 - ③ 地区社協課題解決ミーティングの開催 **2地区**
地区社協役員・事務局と福井市社協職員が、地区社協の運営や各地区の福祉課題について意見交換し、今後の活動を検討した。
 - ④ 地区社協運営・事業推進のための助成
地区社協育成補助金、地域福祉活性化事業助成金、福祉委員活動推進事業補助金、地区社協活動 啓発ふれあい事業補助金、食事サービス事業補助金、自治会型デイホーム事業補助金、ブロック地区社協育成補助金
- (2) ひとり暮らし高齢者等の見守り支援活動の推進強化
- ① 福祉委員委嘱状交付式及び研修会
一部任期途中交代の新任福祉委員に対し委嘱状交付と研修を行った。
木田地区他 20地区
開催日 4月13日(土)
会場 福井県立図書館 多目的ホール
内容 研修「福祉委員の役割」他
参加者 新任福祉委員等 76名
 - ② 福祉委員スキルアップ研修会 【活動計画No.17】
開催日 9月8日(日)
会場 福井県自治会館多目的ホール
内容 講義「認知症の人の暮らしを地域で見守る」
講師 福井県立すこやかシルバー病院 看護部長 高嶋 康子 氏
参加者 146名
 - ③ 地域包括支援センター等関係機関との連携
地域包括支援センターと地区社協・市社協との連携を図った。一部、地域ケア会議に出席し、支援方法の協議やグループワークを行うなど、地域課題についての話し合いへの参加や、事業所対象の研修会に協力するなどした。
 - ④ 地区社協単位で福祉委員と民生委員児童委員、自治会長、保健衛生推進員及び見守り関係者と研修、情報交換の場の設定(40地区56回)。 資料2
ひとり暮らし高齢者等の見守り支援を強化するため、福祉委員の基本的な役割についての研修や、支え合いマップを使用しての情報交換会、地域包括支援センターとの連携、地区に応じた福祉委員及び見守り関係者のスキルアップのための研修会、防災関連の講座等を行った。
 - ⑤ 自治会型デイホーム事業、食事サービス事業を通じた見守りの強化
 - ⑥ 支え合いマップ作成のためのツールの提供および活用の支援
福祉委員・民生委員児童委員等合同研修会でのひとり暮らし高齢者等の見守り支援のための媒体として、支え合いマップを希望する地区へ提供した。
令和元年度末現在、37地区が支え合いマップを活用している。
 - ⑦ ひとり歩き模擬訓練事業への協力
Ⓢ10月6日(日) 順化地区

- ㊦10月24日(木) 清水4地区合同
- 10月26日(土) 森田地区
- ㊦11月16日(土) 東藤島地区
- 11月17日(日) 中藤島地区
- 11月23日(土) 社北地区
- 1月31日(金) 日之出地区

⑧ 福井市あんしん見守りネットワークへの協力

地域団体(自治会、民生委員児童委員、地区社協、保健衛生推進員等)と各種協力事業者(新聞配達、運輸運送業者、ガス・水道事業者、介護サービス事業者など)による高齢者などへの見守りネットワークづくりへ参画した。

(3) 地区社協連絡協議会、ブロック地区社協の育成支援

理事会、連絡会、ブロック会議を通じ市社協と地区社協の連携を深めた。地区社協相互の情報交換を図りながら、地区社協連絡協議会を支援した。

- ① ブロック地区社協活動補助金の交付
- ② 地区社協連絡協議会理事会の開催 4回(5月、8月、12月、3月)
- ③ 広報紙「むすんでひらいて」の発行 2回(6月、9月)
- ④ 地区社協活動説明会(詳細版)

開催日 4月25日(木)

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームA、301号室

内容 会費・共募について

地区社協活動 啓発・ふれあい事業、食事サービス事業について
 デイホーム事業について

地区社協会計事務について

地区社協事務について

地区社協専用ページについて

参加者 地区社協事務局担当者等57名

⑤ 地区社協会長情報交換会

開催日 7月22日(月)

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームA

内容 地区社協活動の基本説明と情報交換・意見交換

参加者 地区社協会長28名

⑥ 見守り活動に関する研修会

【活動計画No.19】

開催日 8月7日(水)

会場 福井県立図書館多目的ホール

内容 講義と演習「今なぜ、支え合い、助け合いが必要か？」

講師 公益財団法人 さわやか福祉財団 新地域支援事業
 担当リーダー 高橋 望 氏

参加者 地区社協関係者52名

(4) 地区社協活動 啓発・ふれあい事業

地区社協の存在の周知、地区社協活動の理解、活動への参加を勧誘することを目的に、各地区社協で参加交流事業、広報事業を行った。

① ふれあい福祉まつり(47地区社協で開催)

資料3

地区社協単位で開催し、福祉まつりの事前広報、市社協・地区社協の活動紹介、

共同募金運動の広報を必須とし、それ以外に各地区の独自メニューとして、「福祉・健康相談」「福祉用具展示」「車いす体験」など、日頃福祉やボランティア活動を意識しない人たちにも福祉やボランティア活動について、住民の理解を促す機会となった。

② 交流・ふれあい事業

地区の実情に応じて、講演会や座談会等を開催した。

③ 地区広報

各地区社協の活動の広報を、地区社協だよりやパネル製作で推進した。

(5) 各種地域福祉活動の推進

① 実践につながる社会貢献活動セミナー（SDGs編） 【活動計画No.6】

SDGsを切り口に企業と団体が出会い、お互いの特徴を活かした活動を生み出すきっかけを作ることを目的に、研修会を開催した。

開催日 7月19日（金）

会場 福井県立図書館 多目的ホール

内容 講演、グループワーク

講師 NPO法人明日育 常務理事 長井 一浩 氏

参加者 企業、福祉サービス事業所、ボランティア団体等 47名

② 子ども福祉委員事業の実施

子どもたちに地域の見守り活動に参加してもらうことで、お年寄りの存在や大切さを感じてもらうことを目的に、任命式や体験学習、高齢者福祉施設や地域の高齢者宅の訪問を行った。

実施校 鶉小学校 4年生（2クラス）

期間 10月～3月

内容 任命式、事前学習（講話や体験学習）、高齢者福祉施設の訪問、地域の高齢者宅の訪問、活動報告ポスターの作製

協力者 鶉小学校、鶉・宮ノ下地区社協、福祉委員、民生委員児童委員、高齢者福祉施設 宝珠苑、保護者、地域の高齢者

(6) 地域福祉を担う人材育成

食事サービス従事者研修会の実施（地域福祉リーダー研修会の再掲）

開催日 5月24日（金）

会場 福井県社会福祉センター 4階 第1・2研修室

参加者 食事サービスに関わる役員、ボランティア等 77名

内容 講義 「食事サービス事業における衛生管理」

講師 福井市保健所 生活衛生課 新庄 公美子 氏

講義 「高齢者向けの献立の実例」

講師 福井県栄養士会 管理栄養士 永田 めぐみ 氏

(7) 社会参加、交流の場

①中央いきいきサロン

【活動計画No.10】

ふれあいや交流を目的としたサロンを開催し、在宅障がい者等の心身機能の向上や仲間づくりを図った。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
茶話会、小物作り、クリスマス会等	毎週金曜日 13:00～16:00 実施回数 45回 会場 ボランティアルームA	延べ767名 (前年度延べ860名)

⑧②オープンサロン ふらっとベル

【活動計画No.10】

11月から、年齢や障がいの有無に関わらず、いつでも誰でも気軽に集うことのできる場として、ショッピングセンターの空きスペースを活用したサロンを設けた。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
買物ついでのおしゃべり、ちょっとした困りごと相談等	毎週火～木曜日 13:00～16:00 実施回数 43回 会場 ショッピングシティ・ベル 2階	延べ 780名

(協力いただいた社会福祉法人) 一乗谷友愛会、おおた福祉会、新清会、竹伸会

(8) 第3次地域福祉活動計画の推進

第3次地域福祉活動計画の20の取り組みについて、企画、調整、実施を行った。

資料4

① 地区社協での実施に向けた働きかけや協議

② 地域福祉活動推進会議

開催日 12月12日(木)

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームA

内容 令和元年度の推進状況と令和2年度の予定他

参加者 15委員の内14名

2 自治会型デイホーム事業

毎年実施するデイホーム利用者アンケートの結果をメニューに反映させ、ニュースポーツやユニバーサルスポーツを積極的に取り入れた。

また、協力ボランティアが自治会型デイホームの活動に、より積極的に参加、協力していただけるよう、楽しみながら活動するためのヒントを学ぶ研修会を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月のデイホームが中止となり、中止期間中のフレイル予防、介護予防など、利用者のフォローにも協力ボランティアの協力を得ながら取り組んだ。

(1) 職員配置

① 企画職員 2名 社会福祉士等 事業の企画調整

② 看護職員 1名 保健師(兼務) 健康情報の発信

③ 指導職員 1名 事業の事務、集計等

④ 専任職員

担当地区の自治会型デイホーム事業の企画・運営。区域ごとに1名配置
47名(2地区兼務者4名含む)

(2) 実施地区と実施回数・実施箇所数

資料5

① 実施地区 49地区(51区域)で実施

② 実施回数・実施箇所数

実施回数 延べ 3,796回 (前年度 延べ 3,752回)

実施箇所数 541か所 (前年度 535か所)

③ 参加人数 延べ 65,086名 (前年度 延べ 70,788名)

利用者数 延べ 47,001名 (前年度 延べ 50,485名)

実人数 9,420名 (前年度 9,546名)

協力者数 延べ 15,865 名 (前年度 延べ 17,721 名)
その他 延べ 2,220 名 (前年度 延べ 2,582 名)

④ 参加率

65 歳以上参加率 12.1% (前年度 12.5%)
75 歳以上参加率 16.2% (前年度 16.6%)

(3) 実施内容

① 必須メニュー

転倒骨折予防を目的とした「ふくいのだんどこ体操」と、認知症予防基本メニューを実施した。

また、毎月「デイホーム健康情報」を作成し、参加者に配布して介護予防、健康づくりへの意識を高めた。

② 通常メニュー

話し合い(ティータイム)や健康体操・レクリエーション・ゲーム・創作活動などをベースに、季節感を出すとともに、毎年実施する利用者アンケートを元に、ニュースポーツやユニバーサルスポーツなど身体を動かすメニューを取り入れ、利用者の声を反映させたプログラムを盛り込んだ。

③ 防火教室、交通安全教室、防犯教室、消費者出前講座の実施

消防局 防火・救急法教室 18地区 延べ43回

警察署 交通安全教室 19地区 延べ66回

防犯教室 20地区 延べ47回

市地域交通課 交通安全教室 13地区 延べ57回

市消費者センター 出前講座 13地区 延べ37回

④ すかっとランド九頭竜での野外デイホーム(利用料の減免対応)

16地区 19回 利用者数 1,387名

⑤ ふくい市民国際交流協会「国際交流事業」の開催

福井市内に在住の外国人(ネパール、バングラデシュ)との交流事業を実施した。

2地区 2回

(4) 自治会型デイホーム事業運営委員会の開催

各地区社協単位で開催 全49地区社協 計 120回 開催

(5) 会議・研修会の実施

① 専任職員定例会の開催 年8回

② 専任職員採用予定者研修

2月13日(木)~18日(火) 4日間 新規採用4名

③ 専任職員研修会

7月22日(月) 専任職員47名

講義・実技 「救急法の基礎知識」

講師 福井市消防局救急隊員8名

9月30日(月) 専任職員47名

講義・実技 「笑顔を引き出すレクリエーション」

講師 レクリエーションサークル充電多居夢

11月25日(月) 専任職員47名

講義・実技 「健康づくりのための体操とセルフケア」

講師 NPO法人生涯体育学習振興機構

健康運動指導士 東野 テツコ 氏
 (福井市健康管理センター「働く世代のための出張健康講座」)

④ 地域福祉リーダー研修会

6月28日(金) 協力ボランティア及び専任職員等 63名
 7月7日(日) 協力ボランティア及び専任職員等 84名 計147名
 講義・実技 「デイホーム活動の関わり方へのヒント
 ー共に笑って 楽しんで みんな元気にー」
 講師 仁愛大学 非常勤講師 山村 恵子 氏

(6) 利用促進事業

DVDプレーヤー及びプロジェクター、スクリーン等を貸し出し、各種講座を開催した。

また、教養講座として、介護予防のための体操講座、フラワーアレンジメント講座や和菓子講座、コーヒーの淹れ方講座等を開催し、新規利用者の利用促進を行った。

貸出実績 11回 (前年度27回)
 教養講座回数 31回 (前年度35回)

(7) 目標設定型寄附による「スカットボール」の購入

自治会型デイホームで使用する「スカットボール」の購入費を目標設定型寄附として募り、購入した。寄附は自治会型デイホーム利用者をはじめ、デイホーム協力者、地区社協役員など、広く呼び掛けをし、2台分の購入費の寄附をいただいた。

目標額 87,000円
 寄附額 184,510円
 購入品 「スカットボール」2式

3 ふれあい食事サービス事業

希望するひとり暮らし高齢者等の健康増進、孤独感の解消、見守り活動を目的に49地区社協が実施主体となり、配食や会食会を実施した。

(1) 実施回数、食数 ※ () 内の数字は前年度実績

実施地区	49地区	
実施回数	延べ473回 (477回)	
形態	配食	延べ394回 (392回)
	会食	延べ79回 (85回)
提供食数	延べ17,284食 (18,148食)	
利用実人数	2,959名 (3,037名)	
協力者数	延べ5,261名 (6,174名)	
運営委員会開催	延べ173回 (169回)	

(2) 衛生管理・食中毒予防対策

使い捨て手袋、マスクを各地区に配布。

(3) 地域福祉リーダー研修会の実施

開催日 5月24日(金)
 会場 福井県社会福祉センター 4階 第1・2研修室
 参加者 食事サービスに関わる役員、ボランティア等 77名

内 容	講義 「食事サービス事業における衛生管理」
講師	福井市保健所 生活衛生課 新庄 公美子 氏
講義	「高齢者向けの献立の実例」
講師	福井県栄養士会 管理栄養士 永田 めぐみ 氏

4 ボランティアセンター事業

住民がボランティア活動に関心を持ち、気軽に参加できるようにボランティア講座を開催し、活動の機会の提供を行った。講座は、複数回シリーズ化することで参加者同士の交流を深め、グループ結成や既存グループへの加入を呼びかけ、実際の活動につなげた。

また、地域ぐるみで福祉教育を推進するため、福祉体験学習に地区社協や福祉教育サポーターの協力を得ながら、福祉体験プログラムの充実に努めた。

市総合ボランティアセンターの運営や連携について定期的な協議の場を設けた。

(1) ボランティアセンターの職員の配置

3名（兼務を含む）のボランティアコーディネーターが、ボランティアの需給調整に関する相談や各種講座の企画・実施、情報発信などを行った。

(2) ボランティア活動推進委員会の開催

ボランティア活動、福祉教育の普及と推進を図るために、各種関係機関で委員構成しているボランティア活動推進委員会を開催した。

① ボランティア活動推進委員会

開催日 8月30日（金）

- 内 容
- ・平成30年度 事業報告と成果
 - ・令和元年度 現時点での事業報告と今後の予定
 - ・第3次地域福祉活動計画に基づいた事業について

(3) ボランティアセンターの運営

① ボランティアセンターの利用件数 642件（前年度 604件）

② ボランティアの需給調整 ※（ ）は前年度の数字

項目	件数	備考
1. ボランティア相談	379件 (308件)	
①ボランティア活動希望	96件 (43件)	
②ボランティア派遣希望	220件 (137件)	
③その他の相談	63件 (128件)	企画相談、預託等
2. ボランティア相談マッチング数	290件 (291件)	
①活動紹介	191件 (124件)	
②情報提供	46件 (105件)	
③他機関紹介	5件 (14件)	
④広報	26件 (15件)	
⑤その他	22件 (33件)	

③ 福井市ボランティアセンター新規登録者数 13名（男2名、女11名）

④ ボランティア活動者の把握数 ※（ ）は前年度の数字

個人	—	1,355名 (1,369名)
----	---	-----------------

団 体	306 団体 (307 団体)	10,548 名 (12,257 名)
合 計	306 団体 (307 団体)	11,903 名 (13,626 名)

(物品の預託)

個人・団体・企業等から、飲料水・タオル・使用済み切手・使用済みテレカ・チケット他の物品の預託を受入し、福祉施設・団体・ボランティア活動者等へ払い出しを行った。

⑤ ボランティア講座の開催

ア 高校生等ボランティア体験講座

【活動計画 No. 7】

(目の不自由な方と卓球バレーで交流)

開催日 6月15日(土)

会 場 福井県社会福祉センター 体育館

内 容 目の不自由な方の移動介助、卓球バレーで交流

共 催 福井県視覚障害者福祉協会地域活動支援センターわいわい

講 師 福井県卓球バレー協会

参加者 高校生・大学生 30名、地域活動支援センターわいわい 16名

イ 福祉教育サポーター養成講座

開催日 6月19日(水)

会 場 福井市民福祉会館ボランティアルームA

内 容 福祉教育についての講義、目の不自由な方の講話、擬似体験、福祉教育サポーターの実践報告

講 師 富久尾 佳美 氏

参加者 13名 (うち新規登録者8名)

ウ お話し相手ボランティア情報交換会

開催日 6月30日(日)

会 場 特別養護老人ホーム HOME TOWN コスモス 地域交流室

内 容 基調講演、施設見学、情報交換

講 師 特別養護老人ホーム HOME TOWN コスモス

施設長 村崎 優 氏

参加者 ボランティア 11名

エ お話し相手ボランティアスキルアップ講座

開催日 9月8日(日)

会 場 福井県自治会館2階 多目的ホール、201研修室

内 容 講義

講 師 福井県立すこやかシルバー病院 看護部長 高嶋 康子 氏

参加者 14名

オ ボランティアアカデミー「おやじの寺子屋コース」

(市総合ボランティアセンター共催)

開催日 11月13日(水)～12月4日(水) (4回シリーズ)

会 場 福井市総合ボランティアセンター

内 容 ボランティア活動についての講義と演習

参加者 14名

カ ボランティアコーディネーション研修(企業ボランティア応援セミナー)

(市総合ボランティアセンター共催)

開催日 11月28日(木)

会 場 福井市総合ボランティアセンター
 内 容 講義、事例発表、情報交換
 講 師 日本ボランティアコーディネーター協会 理事 上田 英司 氏
 (日本NPOセンター事務局次長)

参加者 23名

キ 地域福祉関係者のためのSDGs講座

開催日 11月29日(金)

会 場 福井市民福祉会館ボランティアルームA

内 容 講義・グループワーク

講 師 日本ボランティアコーディネーター協会 理事 上田 英司 氏
 (日本NPOセンター事務局次長)

参加者 27名

(地域福祉活動推進委員会・ボランティア活動推進委員会委員、
 市社協役職員等)

ク ボランティアコーディネーション研修(ボランティア受入スキルアップ研修)
 (市総合ボランティアセンター共催)

開催日 2月20日(木)

会 場 福井市総合ボランティアセンター

内 容 講義、グループワーク

講 師 日本ボランティアコーディネーター協会会員 石井 祐理子 氏
 (京都光華女子大学 健康科学部医療福祉学科 教授)

参加者 27名

⑥ ボランティア情報の発信 【活動計画 No. 16】

ア ボランティア情報紙の発行

回 数 年8回発行

部 数 3,000部(ただし、社協だより発行月は3,700部)

設置先 金融機関、公民館、地区社協、高等学校等 284か所

イ ホームページ、フェイスブックによる情報提供(随時)

⑦ 雪かきボランティア受入れ窓口の開設およびボランティア募集について

市内在住の障がい者や高齢者の非課税世帯で、同居または近隣に親族・親戚等がなく自力での雪かきが困難な方を対象に12月1日から翌年3月15日まで開設した。令和元年度は積雪がなく、活動実績はなかった。※()は前年度の数字

雪かきボランティア相談数	23件(27件)
ボランティア活動希望者数	14名(16名)
ボランティア依頼世帯数	7世帯(0世帯)
ボランティア活動日数	0日(0日)
ボランティア活動者数(延べ)	0名(0名)

⑧ ボランティア連絡協議会への支援

ボランティアグループや個人ボランティアが加入し、情報交換や研修等を行っているボランティア連絡協議会の主催行事等の支援協力を行った。

・ユニークダンスパーティー

開催日 12月8日(日)

会 場 福井市民福祉会館小ホール(フェニックス・プラザ2階)

⑨ 福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録利用申請

(令和2年3月31日現在)

- ・市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録 (43 団体)
 - ・登録団体の内、ボランティアルーム設置の保管庫の利用 (21 団体)
 - ・登録団体の内、ボランティアルーム設置のコピー機の利用 (22 団体)
 - ・ボランティアルーム利用人数 (9,690 名)
 - ⑩ ボランティア保険の加入促進
 - ・ボランティア活動保険 加入受付数 6,793 名 (前年度 8,687 名)
 - ・ボランティア保険等の加入のための普及啓発
 - ⑪ 車椅子の貸出し 108 件 (前年度 117 件)
 - ⑫ マスコットキャラクター「ふくみん」着ぐるみの貸出し 6 件(前年度 5 件)
 - ⑬ 「福井市ボランティアネット」の運営協力
- (4) 福祉教育の推進
- ① 学校での福祉体験講座などへの支援協力
相談・コーディネーター等 83 件 (前年度 72 件)
 - ② 学校での福祉体験講座 (講師紹介) 延べ 54 校 (前年度 50 校)
 - ③ 教職員課題別研修の開催 (市教育委員会との共催) **【活動計画 No. 3】**
開催日 7 月 26 日 (金)
会 場 福井市きらら館 第 3・第 4 会議室
内 容 福祉教育についての講義、グループワーク
講 師 国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター
センター長 村上 徹也 氏
参加者 39 名 (市内小中学校教職員)
 - ④ 福祉教育サポーター懇談会
開催日 1 月 10 日 (金)
会 場 ショッピングシティ・ベル 2 階 (ふらっとベル)
内 容 令和元年度の活動報告と懇談会
参加者 7 名
 - ⑤ 市内県立高校への学校訪問(ボランティア活動の普及啓発活動)
～各校のボランティア活動の現状と今後の活動について情報交換～ **【活動計画 No. 7、16】**

	学校名	学校訪問日
1	藤島高等学校	5 月 8 日 (水)
2	高志高等学校	5 月 13 日 (月)
3	羽水高等学校	5 月 22 日 (水)
4	足羽高等学校	5 月 22 日 (水)
5	福井農林高等学校	5 月 14 日 (火)
6	科学技術高等学校	5 月 21 日 (火)
7	福井商業高等学校	5 月 22 日 (水)
8	北陸高等学校	4 月 26 日 (金)
9	仁愛女子高等学校	5 月 8 日 (水)
10	福井高等学校	5 月 8 日 (水)
11	啓新高等学校	5 月 10 日 (金)

- (5) 関係機関団体との連携、協働活動の推進

福井市総合ボランティアセンター運営委員会への参加（4回）

- 第1回 開催日 4月12日（金）
内 容 減免認定団体の審査、総合VC平成30年度事業報告、平成31年度事業計画
- 第2回 開催日 8月1日（木）
内 容 減免認定団体の審査、総合VCの運営状況と今後の事業予定
- 第3回 開催日 11月18日（月）
内 容 減免認定団体の審査、総合VCの前期の運営状況と今後の事業予定
- 第4回 開催日 3月6日（金）
内 容 減免認定団体の審査、総合VCの後期事業の報告、次年度の事業計画

（6）災害への対応

- ①長野市南部災害ボランティアセンターへの職員派遣（1名）

期間：11月20日（水）～25日（月）

場所：長野市篠ノ井東福寺（南長野運動公園内ゲートボール場）

- ②市災害ボランティアセンター連絡会への参画（3回）

- 第1回 開催日 5月31日（金）
内 容 平成30年度事業報告と令和元年度事業計画、災害ボランティアセンター開設・運営訓練について 他
- 第2回 開催日 9月20日（金）
内 容 災害ボランティアセンター開設・運営訓練の振り返り、内部研修について 他
- 第3回 開催日 2月26日（水）
内 容 長野市災害ボランティアセンターへの支援報告、令和元年度の事業報告と令和2年度事業計画（案）について

（7）福井市精神障がい者ボランティア団体支援事業

- ①精神障がい者およびボランティアによる「つどい」の開催

精神障がい者の心身機能の回復を図るため、精神保健ボランティアグループの協力を得て「さわやかサロン」を開催し、ふれあいや交流を通じて仲間づくりを図った。本事業は本年度をもって受託終了した。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
茶話会、ゲームなど	毎月第2木曜日 13:00～16:00 毎月第4火曜日 13:00～16:00 実施回数 22回 会場 ボランティアルームB	延べ 54名 (前年度 延べ87名)

- ②学習会の開催

開催日	内 容	講 師	参加者
6月20日(木)	「障がい福祉サービスについて」	福井市基幹相談支援センター相談員 松浦 奈央氏	20名
2月6日(木)	「今、ボランティアに求められるもの」	福井病院精神保健福祉士 虎尾 浩美氏	15名

③連絡懇談会の開催

開催日	内 容	参加者
2月13日(木)	今年度の活動の振り返りと今後の活動について情報交換	市社協職員3名 クレヨン会員5名

5 共同募金配分金事業

福井市共同募金委員会からの助成を受け、市社協で広報啓発事業や見守り支援事業、地区社協では地域福祉活性化事業などを行った。

(1) 広報啓発事業

① 社協だより「まごころ」の発行

年6回 各82,000部(全戸配布)

② ボランティア情報紙の発行

回数 年5回発行 ※8回中5回分を発行

部数 3,000部(ただし、社協だより発行月は3,700部)

(2) 見守り支援事業(P7~8参照)

① 福祉委員設置助成

福祉委員設置地区 49地区(1,602名)

福祉委員活動推進費補助 1名につき2,000円

② 福祉委員委嘱式・新任福祉委員研修会の開催

一部交代に伴い、委嘱式を開催した。希望により一部地区では、地区開催で委嘱式を行った。

開催日 4月13日(土)

会場 福井県立図書館 多目的ホール

内容 委嘱式、研修「福祉委員活動のヒント」他

③ 福祉委員ハンドブック作成

福祉委員一斉改選に向けて、福祉委員ハンドブック2,500部を作成した。

④ 支え合いマップ作成

地区の要望に応じて、地域支え合いマップを作成した。

(3) 地域福祉活性化事業助成 49地区 859,200円

前々年度大口募金実績額に基づき **地区社協に助成した。**

(4) 歳末たすけあい配分金事業

㊦① 地域防災を考える講座

【活動計画 No. 18】

開催日 1月25日(土)

会場 福井県社会福祉センター4階 第1・2研修室

内容 講義、ワークショップ

講師 NPO法人まちの防災研究会 理事長 松森 和人 氏

参加者 35名

② 地域福祉活動発表会の開催

【活動計画No.13】

地域福祉活動を行う団体が対外的に活動を発表し、新しいつながりを作り、連携を図ることを目的に地域福祉活動発表会を開催した。

子どもを軸とした地域福祉活動の実践発表から、福祉教育がもたらす新しいつながりについて考えた。ポスター展示や体験コーナー等を設け、「発表」「展示」「体験」の3本立てで、学びの共有と福祉への理解を図った。

開催日 2月15日(土)

会 場 福井県立図書館多目的ホール、エントランス、文書館研修室
 内 容 3組(2団体1個人)の活動発表、ボッチャ体験、見えにくさ体験、
 15団体のパネル展示
 発表者 鶉地区社会福祉協議会 清川清治氏
 福祉教育ゲスト講師 酒井正輝氏
 福井市シニアリーダーズリーダークラブ 杉本大翔氏、中村美彩氏
 助言者 福井大学国際地域学部 講師 田中 志敬 氏
 参加者 地区社協、団体、学校関係他 184名

③ 福井市ボランティア連絡協議会への助成

(5) 緊急災害援護配分金

60,000円(火事見舞い 4件 10,000円×3件、30,000円×1件)

6 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者等に対し、福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理及び書類等の預かりを行い、判断能力に不安のある方々の地域生活を支援した。精神障害者や触法障害者、認知症の親と知的(精神)障害者の同居世帯に対する相談支援等、困難ケースについても関係機関と連携して対応した。

(1) 職員配置(令和2年3月31日現在)

- ① 専門員 3名(専任1名・兼任2名)
- ② 生活支援員 31名(常勤1名・非常勤30名、その他登録者7名)

(2) 利用状況

① 契約件数累計 517件(うち令和元年度新規契約件数 29件)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計(前年度)
302件	87件	119件	9件	517件(485件)

② 現利用者件数 141件(令和元年3月31日現在)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計(前年度)
57件(31)	31件(9)	52件(23)	1件(0)	141件(124件)

※利用者のうち生活保護受給者63名(44.7%)

※()内は生活保護受給者

(3) 相談状況

本事業の利用に関するもの				合 計(前年度)
認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	
2,524件	1,284件	2,038件	37件	5,883件(5,118件)

(4) 成年後見制度への移行状況

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計(前年度)
7件	3件	2件	0件	12件(12件)

(5) 広報啓発活動

当会Webサイトで事業広報ページ掲載

7 生活福祉資金貸付事業

失業者世帯や低所得世帯を対象に総合支援資金や教育支援資金等の生活福祉資金貸付制度に関する相談を受けた。3月25日からは新型コロナ特例貸付相談を開始した。また、県社協による滞納案件の償還指導等に協力した。

(1) 相談件数	延べ 531 件 (前年度 528 件)
申請件数	延べ 38 件 (前年度 27 件)
貸付件数	延べ 28 件 (前年度 25 件)
市内貸付件数 (県社協受付分含)	47 件 (前年度 40 件)
(内訳) 総合支援資金	0 件 (前年度 0 件)
福祉資金	4 件 (前年度 3 件)
緊急小口資金	23 件 (前年度 20 件)
教育支援資金	12 件 (前年度 16 件)
臨時特例つなぎ資金	8 件 (前年度 1 件)
(2) 貸付総額	7,222,716 円 (前年度 9,680,520 円)

Ⅲ 子ども・子育て支援事業

〈拠点区分3〉

1 児童館事業

地域における児童健全育成の活動拠点としての機能強化を図るため、全児童館において土曜日を中心に季節行事、伝統行事及び地域と連携した行事、運動スポーツ、造形創作を年10回以上実施した。また、児童館だよりの自治会回覧や児童館ホームページを通じて児童館の周知を図るとともに、出前児童館として、児童館職員が地域のまつりや子ども会に出向き、工作や遊びを提供して、児童館事業の周知を行った。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月2日から臨時休館した。

(1) 児童館の管理運営 (合計 25 館)

資料6

つばき、ひまわり、さざんか、とちのき、もくせい、とまと、すいせん、すずらん、ふじ、もみじ、こすもす、くすのき、たちばな、あさがお、たんぽぽ、すみれ、どんぐり、くるみ、つくし、すぎのこ、まきやま、たけのこ、さくらんぼ、ちゅうりっぷ、まつのき

- ① 職員体制 館長 25 名、**児童厚生員 45 名**
代替厚生員 1 名、主任支援員 2 名
- ② 開館日 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館)
- ③ 開館時間 12:00～18:00 (長期休業中は 8:30～18:00)
- ④ 利用者数 延べ 300,720 名 (前年度 335,774 名)
(内訳) 一般来館者数 延べ 44,445 名 (前年度 50,368 名)
放課後児童会利用児童 延べ 256,275 名 (前年度 285,406 名)
- ⑤ 地域連携行事参加者数 延べ 74,775 名 (前年度 76,735 名)
- ⑥ ボランティア活動者数 延べ 1,250 名 (前年度 1,364 名)
- ⑦ 出前児童館 延べ 12 回

※実績には、げんキッズ育成事業の実績も含む。

(2) 児童館長会議の開催 (7 回)

開催日 4月23日(火)、6月18日(火)、9月17日(火)、10月29日(火)
12月3日(火)、1月28日(火)、3月3日(火)

(3) 児童厚生員連絡会

開催日 11月28日(木)

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームA

内容 児童館行事の考え方・進め方、グループトーク

参加者 厚生員 48名

(4) 児童館職員研修の実施

① 児童館館長研修会

開催日 6月18日(火)

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームB

内容 コーチング研修～人を活かす、自分を活かすコーチング～

講師 オフィス上村 代表 上村 泰子氏

参加者 27名

② 児童館職員現任研修会

ア 救命救急法講習会

開催日 6月13日(木)、20日(木)、7月9日(火)

会場 福井市防災センター

内容 救助・AEDでの心肺蘇生法

講師 福井市消防局職員

参加者 館長、厚生員、支援員 173名

イ 児童館職員研修会

・第1回

開催日 6月4日(火)

会場 福井県自治会館201研修室

内容 アンガーマネジメント「あなたの怒りの原因はなんですか？」
～気持ちをコントロールする方法～

講師 オフィス上村 代表 上村 泰子氏

参加者 館長、厚生員 72名

・第2回

開催日 9月3日(火)

会場 福井市研修センター研修室101

内容 子どもの関わり方、保護者の対応について

講師 福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科 教授 吉弘 淳一氏

参加者 館長、厚生員 48名

・第3回

開催日 10月1日(火)

会場 福井県自治会館201研修室

内容 ぜん息・アレルギーの基礎知識、エピペンの使い方

講師 福井大学医学部附属病院 看護師 牧野 優衣氏 他2名

参加者 館長、厚生員 73名

・第4回

開催日 10月24日(木)

会場 福井市民福祉会館ボランティアルームA

内容 幼児の発達に沿ったあそびの理解～創ろう！手遊び・手作りおもちゃ～

講 師 福井県レクリエーション協会 辻岡 世紀子 氏
 参加者 厚生員 51名
 令和元年度新採用職員フォローアップ研修
 開催日 1月14日(火)
 会 場 福井市民福祉会館セミナールーム
 内 容 児童館・放課後児童会の業務についての質問・回答
 会計・庶務について
 講 師 児童館担当職員
 参加者 館長、厚生員 8名

(5) 児童館事業の広報活動

- ① 社協だより「まごころ」掲載
- ② 児童館だよりの自治会回覧
- ③ 市社協ホームページで各児童館活動紹介
- ④ 児童館のしおり「遊びにいこうよ！みんなの児童館」発行
- ⑤ 保健衛生推進員を通じた子育てひろばチラシの配布

(6) 施設の修繕

もみじ児童館東面雨樋架け替え工事他 10件

⑧① アンケート箱の設置

児童館玄関にアンケート箱を設置し、利用者が意見・要望を言いやすい環境を整えた。

(7) げんキッズ育成事業の運営

小学校の余裕教室を活用して学校内で児童館事業を実施し、小学生を対象とした地域の放課後の居場所づくりを行った。

- ① 開設場所 春山小学校「さくらじどうかん」、足羽小学校「あじさいじどうかん」、旭小学校「さつきじどうかん」
- ② 職員体制 館長3名、児童厚生員6名
- ③ 開館日 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館)
- ④ 開館時間 12:00～18:00(長期休業中は8:30～18:00)
- ⑤ 利用者数 延べ 27,293名(前年度 32,078名)
 (内訳) 一般来館者数 延べ 3,814名(前年度 4,714名)
 放課後児童会利用児童 延べ 23,479名(前年度 27,364名)
- ⑥ 地域連携行事参加者数 延べ 5,114名(前年度 5,675名)
- ⑦ ボランティア活動者数 延べ 278名(前年度 355名)

⑧② アンケート箱の設置

児童館玄関にアンケート箱を設置し、利用者が意見・要望を言いやすい環境を整えた。

⑨ 施設の修繕

さくらじどうかん事務室棚工事他 1件

(8) 移動児童館の運営

もくせい児童館を拠点として、東足羽3地区の公民館、集会所等を利用して児童厚生員が出向いて移動児童館事業を実施した。

巡回会場	一乗、上文殊、六条
実施回数	延べ 6回 (前年度 15回)
利用児童数	延べ 182名 (前年度 352名)

2 放課後児童会事業

児童館に放課後児童会を開設し、保護者が共働き等の理由で放課後家庭にいない児童を預かり、生活の支援を行った。新型コロナウイルス感染拡大による小学校の臨時休業に伴い、3月3日から24日まで午前中も開所し、登録児童で家庭での監護が困難な場合に限って受け入れた。

- (1) 放課後児童会の開設 28会（児童館で開設）
- (2) 登録児童数 1,486名（短期含む）（前年度1,575名）
- (3) 支援員研修会
開催日 5月8日(水)、29日(水)、6月3日(月)
会場 福井県自治会館2階201研修室
内容 児童に対する接遇スキルを高める
講師 オフィス上村 代表 上村 泰子 氏
参加者 支援員153名
- (4) 放課後児童支援員認定研修の受講 33名（累計210名）
- (5) 障害児等の専門カウンセラーの派遣
派遣件数 100件（前年度141件）
- (6) 不審者対応
全館で緊急通報装置のメンテナンス、作動訓練
- (7) 令和2年度入会希望児童の調整
つばき放課後児童会（社南地区）、さざんか放課後児童会（木田地区）、とまと放課後児童会（東安居地区）、すずらん放課後児童会（清明地区）において、定員を上回ったため、入会の抽選を行った。抽選を外れた児童は、同校区内の他の児童クラブに入会した。

㊦3 放課後児童クラブ事業

木田小学校、日之出小学校、麻生津小学校内で児童クラブを開設し、保護者が共働き等の理由で放課後家庭にいない中高学年の児童を預かり、生活の支援を行った。

新型コロナウイルス感染拡大による小学校の臨時休業に伴い、3月3日から24日まで午前中も開所し、登録児童で家庭での監護が困難な場合に限って受け入れた。

- (1) 児童クラブの開設 3クラブ
- (2) 登録児童数 71名（短期含む）
- (3) 放課後児童支援員認定研修の受講 3名
- (4) 障害児等の専門カウンセラーの派遣
派遣件数 15件

4 地域子育て支援拠点事業

福井市清水保健センター内で子育て支援室「赤とんぼ」を開設した。福井市南西部にお住まいの方を中心に広く利用され、近隣の市町の方も来られている。季節に応じた行事や遊びに加え、保育士を常駐させて子育ての相談や、保健センターと連携した保健師による健康相談ができ、利用者から好評を得ている。また、赤とんぼだよりを作成・配布して、利用者に行事の内容を詳しくお知らせした。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月2日から休所した。

- (1) 実施内容

主に3歳までの乳幼児をもつ親とその子どもが気軽に集う交流の場を設けるとともに、専任職員4名を配置し、相談支援などを行った。

- (2) 開催日 毎週月～金曜日 10:00～16:00
- (3) 開催会場 福井市清水健康管理センター内 子育て支援室「赤とんぼ」
- (4) 開催日数 年間219日
- (5) 利用者数 延べ8,813名(前年度 8,832名)
- (6) 行事内容
 - 4月18日(木) 4月お誕生会
 - 4月22日(月) こいのぼり作り
 - 4月26日(金) こいのぼりに触れて遊ぼう
 - 5月08日(水) チャイルドシートのはなし
 - 5月15日(水) アルバム作り
 - 5月22日(水) ミュージック・ケア
 - 5月24日(金) 5月お誕生会
 - 5月30日(木) ベビーヨガ
 - 6月06日(木) 作って遊ぼう
 - 6月13日(木) アルバム作り
 - 6月14日(金) 親子体操
 - 6月20日(木) 働くための出張相談会
 - 6月25日(火) 6月お誕生会
 - 6月28日(金) 薬剤師さんに聞いてみよう
 - 7月01日(月) 七夕飾り作り
 - 7月05日(金) 七夕コンサート
 - 7月10日(水) 歯医者さんに聞いてみよう
 - 7月12日(金) アルバム作り
 - 7月16日(火) ～8月23日(金) 中庭で水遊び
 - 7月17日(水) 入園に向けて聞いてみよう
 - 7月24日(水) 7月お誕生会
 - 8月02日(金) 子育て相談会「トイレトレーニングについて」
 - 8月06日(火) 働くための出張相談会
 - 8月08日(木) 子どものための発達相談会
 - 8月21日(水) アルバム作り
 - 8月29日(木) 応急処置教室
 - 8月30日(金) 8月お誕生会
 - 9月12日(木) 子育て相談会「生活リズムについて」
 - 9月13日(金) アルバム作り
 - 9月19日(木) ミニ運動会 おじいちゃん、おばあちゃんとの交流会
 - 9月26日(木) がっちゃんのお話会
 - 10月08日(火) 栄養士さんに聞いてみよう
 - 10月09日(水) リトミック
 - 10月11日(金) ほめ方教室
 - 10月15日(火) アルバム作り
 - 10月16日(水) 作って遊ぼう
 - 10月17日(木) 薬剤師さんに聞いてみよう

民館、啓蒙公民館、特定非営利活動法人清水スポーツクラブ、株式会社カワカミパワーシステムの6カ所に自動販売機を設置いただき、売上の一部42,153円を寄付していただいた。

VI 関係機関団体への支援・協力

1 各種委員会・会議への参加協力（出席者）

- ・福井県社協理事（会長）
- ・福井県共同募金会理事（会長）
- ・福井市社会福祉審議会委員（会長、次長、地域福祉課長）
- ・福井市交通安全対策協議会（会長）
- ・福井市国民保護協議会委員及び幹事（会長、次長）
- ・福井市防災会議委員及び幹事（会長、次長）
- ・福井市ふれあい公社評議員（会長）
- ・「社会を明るくする運動」福井市推進委員会委員（会長）
- ・公益財団法人ふくしん地域振興協力基金評議員（会長）
- ・福井市民生委員推薦会委員（副会長）
- ・青少年育成福井市民会議監事（副会長）
- ・福井刑務所視察委員会委員（副会長）
- ・福井市国民健康保険運営協議会委員（理事）
- ・福井市功労者選考委員会委員（評議員）
- ・福井県共同募金会福井市共同募金委員会運営委員（専務理事）
- ・福井市不死鳥のねがい推進協議会常任委員、委員（専務理事、評議員）
- ・福井市明るい社会づくり推進協議会常任理事（副会長）
- ・福井市中央公民館運営審議会委員（事務局長）
- ・福井市空き家対策協議会（事務局長）
- ・福井市要保護児童対策地域協議会（次長、総務企画課担当職員）
- ・福井市放課後子ども総合プラン運営委員会委員（総務企画課担当者、児童館長）
- ・福井市児童クラブ連絡協議会理事（総務企画課担当者）
- ・福井市男女共同参画審議会委員（児童館長）
- ・福井市学校不適応対策事業推進会議（児童館長）
- ・福井市地域福祉計画推進評価会議（地域福祉課長）
- ・福井市地域包括ケア推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・福井市障がい者施策推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・福井市障害者差別解消支援地域協議会（地域福祉課長）
- ・福井市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課長）
- ・福井市障がい者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課長）
- ・福井市総合ボランティアセンター運営委員（地域福祉課長）
- ・福井市健康づくり推進協議会（地域福祉課長）
- ・福井市地域福祉計画推進連絡会（地域福祉課担当者）
- ・福井市介護予防・生活支援サービス検討委員会（地域福祉課担当職員）
- ・福井市認知症施策検討協議会（地域福祉課担当職員）
- ・福井市消費者センター運営協議会（地域福祉課担当者）
- ・福井県内社協職員協議会役員（地域福祉課職員）

2 後援事業

- ・視覚や聴覚に障害のある人が文化施設に安心して来ることができる『アクセシビリティ』を考える研修会
- ・第24回福井シルバーバレーボール交歓全国大会
- ・親と子のリレーションシップほくりく2019福井大会
- ・羽二重ねっと設立5周年記念事業
- ・福井市空き家等無料相談会
- ・CSP ROCK (&SPORTS) FESTIVAL
- ・第46回福井県老人クラブ大会
- ・ふくい吃音のつどい2019
- ・令和元年度福井市身体障害者福祉大会
- ・春を走ろう わたぼうしコンサートIN福井(延期)
- ・令和元年度第18回市民公開講座
- ・スミセイウエルネスセミナー
- ・第19回福井県障がい者ハートフル文化祭
- ・第65回福井県身体障がい者福祉大会
- ・第10回福井県障がい者水泳競技大会
- ・みんなでつくるダンスプロジェクト 市民参加型コンテンポラリーダンス
- ・第10回福井県障害者フライングディスク大会
- ・第3回あじさい元気カラオケ大会(中止)
- ・第41回ユニークダンスパーティー
- ・第11回足羽福祉会サービス実践報告会
- ・第33回三世代合同のつどい
- ・第8回足羽川ふれあいマラソン(中止)
- ・みんなで舞台にたとう!シーズン15
- ・第4回ふくい終活フェア(中止)
- ・支援者のための障害児・者性教育セミナー

3 社会福祉援助技術現場実習等の受け入れ

- (1) 福井県立大学 1名
10月1日(火)～11月13日(水)
社会福祉士受験資格修得のための実習
- (2) 福井市医師会看護専門学校 36名
8月22日(木)～8月29日(木) 19名
9月2日(月)～9月10日(火) 17名
自治会型デイホーム事業での実習

4 三市(福井市・富山市・金沢市)社協懇談会の開催

開催日 11月13日(水)

会場 金沢福祉用具情報プラザ

参加者 19名(うち本会職員4名)

内容 全体会と分科会

- 分科会 ①経営改善の取り組み(財源の見直し等)や働き方改革への対応について
②地域共生社会の実現や地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みについて

Ⅶ 共同募金運動への協力

福井市共同募金委員会の事務局を担い、各種団体の協力を得ながら、赤い羽根共同募金運動を実施した。一般募金の実績は、目標額に対しても、前年度実績に対してもともに下回る結果となった。歳末たすけあい募金は、福井市明るい社会づくり推進協議会と高校生ボランティアの協力を得て、目標額を達成することができた。

【一般募金】

(単位 円)

募 金 種 類	目 標 額	実 績 額	差 異 額
戸 別 募 金	10,845,000	10,580,218	△264,782
大 口 募 金	8,323,000	7,890,074	△432,926
街 頭 募 金	290,000	202,911	△87,089
学 校 募 金	870,000	784,145	△85,855
職 域 募 金	2,495,000	2,332,828	△162,172
法 人 募 金	626,000	579,918	△46,082
その他の募金	594,000	766,201	172,201
合 計	24,043,000	23,136,295	△906,705

【歳末たすけあい募金】

(単位 円)

募 金 種 類	目 標 額	実 績 額	差 異 額
街 頭 募 金	340,000	305,079	△34,921
学 校 募 金	—	34,921	34,921
合 計	340,000	340,000	0